

令和2年度 第2回碧南市総合教育会議 次第

日時 令和3年1月14日（木）

午後3時30分～

場所 市役所 4階 庁議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 碧南市教育大綱（第2期）（案）について

(2) 意見交換

4 その他

5 閉会

令和2年度第2回碧南市総合教育会議出席者名簿

No.		部課名	役職名	氏名
1	市長			禰宜田 政信
2	教育委員			伊藤 正幸
3	教育委員			高橋 世利子
4	教育委員			池田 香代子
5	教育委員			磯貝 暉宏
6	教育長			生田 弘幸
7	碧南市 (事務局)	総務部	部長	奥谷 直人
8		教育部	部長	岡崎 康浩
9		経営企画課	課長	生田 和重
10		経営企画課 (庶務課)	主幹	堀田 葉子
11		経営企画課 (庶務課)	政策推進 担当係長	亀島 有香



碧南市教育大綱（第2期）

（案）

碧南市の教育、学術及び文化の振興に
関する総合的な施策の大綱

令和3年3月

碧 南 市

目 次

はじめに.....	1
1 大綱策定の趣旨.....	1
2 大綱の策定にあたっての考え方.....	1
3 大綱の期間.....	1
目標.....	2
施策のめざす姿.....	2
施策の方針.....	3
1 就学前教育・子育て支援.....	3
2 学校教育.....	4
3 生涯学習・スポーツ.....	6
4 芸術・文化.....	8

はじめに

1 大綱策定の趣旨

平成27年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、教育委員会と地方公共団体の長（本市では市長）との連携強化が図されました。

改正後の法律第1条の3第1項では、市長は、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされ、本市では市長と教育委員会で構成する総合教育会議において協議し、平成28年度から令和2年度までの5年間を対象期間とした碧南市教育大綱を平成27年11月に策定しました。この度、大綱の対象期間が終了となることから、碧南市教育大綱（第2期）を定めるため令和2年度の総合教育会議にて協議し、令和3年3月に策定となりました。

2 大綱の策定にあたっての考え方

本市における教育に関する施策のめざす姿やその実現に向けた方針については、令和2年度策定の第6次碧南市総合計画（総合計画）（計画期間：令和3年度～令和12年度）に掲げています。

したがって、総合計画の基本理念に基づいた「施策の大綱」及び基本施策の「就学前教育・子育て支援」「学校教育」「生涯学習・スポーツ」「芸術・文化」の分野を本市の教育大綱と位置付けます。

3 大綱の期間

令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間とします。ただし、本市の教育を取り巻く状況や社会情勢の変化に応じて、期間の途中においても見直しを行います。

目標

人と文化が育ち・支え合うまち

施策のめざす姿

子育てや教育環境の充実により、子どもが健やかに成長できる環境を形成するとともに、誰もが健康で生きがいのある生活が送れるように文化・スポーツ、健康・福祉環境の充実を図り、人と文化が育ち・支え合うまちをめざします。

1 就学前教育・子育て支援

保護者のライフスタイルに応じた利用しやすい子育て支援施策の提供により、子どもたちが安心安全に過ごし、質の高い就学前教育が受けられる環境をめざします。

2 学校教育

よりよい社会をつくるという理念を家庭や地域社会と共有し、これから時代に求められる学校教育の充実をめざします。

子どもが社会に主体的に関わり、可能性に挑戦するために必要となる力を育むことのできる環境づくりをめざします。

3 生涯学習・スポーツ

誰もが互いに楽しく学び合い、その成果が地域社会に活かされる環境をめざします。

人や団体相互の連携・交流を進め、地域力の向上をめざします。

青少年の教育、健康の維持増進、生きがいとして市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じた地域活性化をめざします。

4 芸術・文化

誰もが心豊かな生活を楽しむ活気あるまちづくりの拠点として、それぞれの施設の特色を活かしながら充実した芸術文化活動をめざします。

地域の歴史・文化・自然の保存と活用を図り、次世代への継承をめざします。

施策の方針

1 就学前教育・子育て支援

① 安心して子育てできる保育環境の整備

認可保育園や幼稚園、認定こども園に質の高い就学前教育が求められていることから、幼児教育・保育関係者に対し、より専門性の高い研修の機会を与え、保育の質の向上を図ります。

女性の就業率の上昇や幼児教育・保育の無償化、低年齢児の増加に伴う保育ニーズの高まりに対応し、認可保育園・こども園の定員見直しや、民間園の誘致などにより、教育・保育の量の確保を図ります。

多様な働き方に対応するため、一時預かり、病児保育、ファミリーサポートセンターなどさまざまな保育事業を引き続き実施します。

② 子どもの居場所づくり

放課後児童クラブについては、ニーズの把握に努め、施設の拡張や近隣施設の活用などにより、必要に応じた支援の量の確保を図ります。

認可保育園・認定こども園では保護者の就労状況等により、通常の保育時間を延長して子どもを預かる時間外保育を、また幼稚園では預かり保育事業を引き続き実施します。

③切れ目のない支援体制の確立

育児不安・育児の悩み・負担感を抱える家庭がいつでも相談できる窓口や支援機関を充実し、医療・保健・福祉・教育が連携し、切れ目のない支援体制を提供します。

国籍や障害など、児童それぞれが持つ特性を認め合い、それぞれの児童や保護者の側に立った支援体制の確立を図ります。

2 学校教育

①教育内容や環境の充実

キャリア教育、職場体験学習を継続的に行い児童生徒の社会性の育成を図ります。

小学校外国語の教科化に対応するために、外国語指導助手の派遣や小学校英語専科非常勤講師を配置し、教育体制の充実を進めます。

生徒指導対応非常勤職員の配置を行い、教育環境の充実を図ります。

不測の事態に伴う学校休業を想定した、学びの保障について対策を進めます。

②支援の必要な児童生徒への支援の充実

スクールアシスタントを必要がある小学校に配置し、心身に障害等がある児童の支援を図ります。

日本語初期指導教室の開設や通訳のできるスクールアシスタントの配置をし、外国人児童生徒の支援を行います。

心の教室相談員の配置や、ハートフレンドの派遣、派遣型スクールカウンセラーの活用など、各機関が連携して不登校等の対策を進めます。

③教員研修の充実

新しい教育内容（英語教育、プログラミング教育等）への対応のための教員研修を実施します。

教員の資質向上のために教員研修指導員を配置して研修の充実を図ります。

④学校施設の整備・充実

学校にICT機器等を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するための学習環境の充実を図ります。

老朽化が進んだ学校施設について適切な維持管理と計画的な改修を行い、長寿命化を図

るとともに安心安全かつ快適な教育環境の整備を行います。

⑤安全な給食の提供及び食育の推進

衛生教育の実施、食中毒・異物混入対策マニュアルの充実など食の安全に関する取り組みを進め、児童生徒に安全な給食を提供します。

「碧南人参の日」等の記念日に合わせて地元産の食材を使用し、児童生徒の食材への関心を高めることで地産地消の取り組みを推進します。

3 生涯学習・スポーツ

① 地域と連携した生涯学習の推進

HEXPO STAFF、子ども会、青少年育成推進員など、生涯学習活動に関わる団体相互の連携を強化します。

家庭や地域の教育力向上を図るため、親子の共同体験や家庭教育に関する学習機会の提供に努めるとともに地域と連携した取り組みを推進します。

② 生涯学習機会の拡充

多様化するニーズに応じた、魅力ある講座を開催します。

各種講座の終了後、受講者が新たな団体として活動を継続できるよう支援します。

文化祭事業を始め、文化会館ホールなどをを利用して成果を発表する場を提供します。

③ スポーツの推進体制の強化

スポーツ協会を始めとする関連団体の支援に努めるとともに、学校体育や企業、スポーツチームを含む各団体間の連携を強化し、スポーツの裾野拡大を図ります。

指導者の育成と資質向上により、安定的かつ継続的にスポーツができる環境の整備を行います。

④ スポーツに触れる機会の拡充

スポーツ教室や手軽な健康づくり講座の開催など、市民がスポーツに触れる機会を提供することにより、健康寿命の延伸に努めます。

年齢や体力さらには障害の有無に応じ、生涯にわたりスポーツを楽しめる環境の整備に努めます。

ニュースポーツ・若者向けスポーツを始めとした魅力あるスポーツ事業を実施することにより、スポーツの推進と地域の活性化をめざします。

スポーツ施設の魅力を積極的にPRし、利用促進をめざします。

⑤生涯学習・スポーツ施設の維持管理・整備

生涯学習関連施設やスポーツ施設の計画的な維持・管理を行うとともに、利用者の安全はもとより、利便性の高い施設・設備となるように整備・改修を進めます。

碧南緑地におけるスポーツ施設の整備については、アジア・アジアパラ競技大会後の利用を見据えつつ、費用面を含めあらゆる観点から調査・研究を進めます。

4 芸術・文化

①自主運営事業の充実

各施設の特性を生かした魅力ある事業を行うことで、まちの芸術文化環境を個性あるものにし、若い世代が新しい文化を創造しやすい地盤を育てます。

地域の歴史や伝統文化の調査研究を進め、積極的に文化財指定を行い、貴重な文化財の継承・保存を推進し、潜在的な文化資源を掘り起こすとともに、公開などの活用を図ります。

各施設が地域文化活動の拠点になるよう、市民同士の交流を深める事業やボランティア活動を支援する事業などを展開します。

自由な発想の事業を行うため、施設の枠にとらわれず施設間連携を深め、より充実した企画を実施します。

②教育普及の充実

学校や園と連携した事業を積極的に行うことにより、子どもが芸術文化に興味を持つきっかけを作り、地域の歴史や自然環境の大切さを伝えることで、将来の地域文化の担い手の育成を図ります。

何度訪れても魅力を感じさせる施設作りのために、企画や展示コーナー等を刷新し、得た知識や教養が市民や地域に活用されることをめざします。

③情報発信の強化

各施設はホームページやSNSを利用し、碧南市ならではの情報を公開し、施設の魅力や地域文化のイメージを高めるよう情報発信をするとともに、市民の意見を収集し、施設の運営に反映します。

④施設の整備

施設の計画的な改修により安全性を高め、市民が安心して利用できるよう整備を進めます。

観光資源として活用するため、必要に応じて民間とも連携しながら、施設・サービスの向上を図ります。

⑤施設の特色を活かした運営

碧南市芸術文化ホールは、優れた芸術文化にふれることができる機会を提供するとともに、市民による自主的な芸術文化活動が地域に根付くための支援を行います。

碧南市藤井達吉現代美術館は、多世代を対象とした美術普及活動を展開し、藤井達吉など本市に縁のある人物や地域の歴史の調査・研究を進め、啓発活動を行います。

哲学たいけん村無我苑は、哲学・茶道・芸術・文化などを通して心を豊かにする事業を展開します。

碧南市民図書館は、外国人を含めたあらゆる世代のニーズに応え、多種多様な資料を収集提供し、市民が自主的に学べるよう読書活動の推進を図ります。

碧南海浜水族館は、特別展やビオトープなどでの自然観察会等を通して、命の大切さを学び、絶滅危惧種や自然環境の保全に必要な能力の育成・支援を図ります。

碧南市教育大綱（第2期）

碧南市の教育、学術及び文化の振興に関する

総合的な施策の大綱

発行・編集 碧南市総務部経営企画課政策推進係

〒447-8601 碧南市松本町28番地

電話 0566-41-3311（代表）

FAX 0566-48-0077

E-mail keieika@city.hekinan.lg.jp

第5章 施策の大綱

まちづくりの基本理念に基づき、本市の将来像を実現するため、次の4つの施策の大綱を定め、それぞれで基本施策を展開します。その進捗管理はそれぞれに関連する個別計画によって行います。

基本理念

【施策の大綱】

施策分野1 安心安全で住みやすいまち

施策分野2 人と文化が育ち・支え合うまち

施策分野3 都市の発展に向けた活力を生み出すまち

施策分野4 ともに創る自立したまち

施策分野1 安心安全で住みやすいまち

防災、防犯、交通安全対策を充実し、地域の安全性を高めるとともに、自然環境の保全、ゴミの減量化など快適で潤いのある環境づくりを進め、安心安全で住みやすいまちをめざします。

基本施策

- ①防災対策 ②防犯・交通安全 ③上下水道・治水 ④公園・緑地 ⑤環境・ごみ・エネルギー

施策分野2 人と文化が育ち・支え合うまち

子育てや教育環境の充実により、子どもが健やかに成長できる環境を形成するとともに、誰もが健康で生きがいのある生活が送れるように文化・スポーツ、健康・福祉環境の充実を図り、人と文化が育ち・支え合うまちをめざします。

基本施策

- ⑥就学前教育・子育て支援 ⑦学校教育 ⑧生涯学習・スポーツ ⑨芸術・文化 ⑩健康・医療
⑪地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉 ⑫社会保障(福祉医療・低所得者・保険制度)

施策分野3 都市の発展に向けた活力を生み出すまち

農水産業、製造業などの産業の振興と都市基盤の充実を図るとともに、地域の資源の魅力を活用した観光を振興することで人・モノの交流が活発に展開し、都市の発展に向けた活力を生み出すことができるまちをめざします。

基本施策

- ⑬基盤整備(道路・港湾) ⑭市街地整備・景観・住宅 ⑮農業・水産業 ⑯工業・地場産業
⑰商業・観光・公共交通

施策分野4 ともに創る自立したまち

安定した財政運営のもと、時代の変化に的確に対応できる行政運営を推進するとともに、市内の多様な団体・市民と行政が地域の課題解決に向けて相互に連携してともに創る自立したまちをめざします。

基本施策

- ⑱開かれた市政・広報戦略 ⑲市民協働・コミュニティ ⑳行財政運営

基本施策

6

就学前教育・子育て支援

施策のめざす姿

保護者のライフスタイルに応じた利用しやすい子育て支援施策の提供により、子どもたちが安心安全に過ごし、質の高い就学前教育が受けられる環境をめざします。

現状と課題

- 平成29年に保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領が同時改定され、いずれも同じ幼児教育を行う施設であることが明確に位置付けられました。保育が必要ということだけでなく、子どもの教育や発達のためにという理由により、認可保育園や幼稚園、認定こども園を利用したい保護者の要望に応えるため、さらに質の高い就学前教育・保育の提供が必要です。
- 幼児教育・保育の無償化実施や女性の就業率の上昇を背景に、保育園等の3歳未満児が増加しているため、保育ニーズに対応できるよう、教育・保育の量の確保が必要です。
- 乳幼児をもつ子育て家庭の交流や相談、情報提供を行う子育て支援センターなどの実施により、子育ての不安に寄り添い、安心して子どもを生み育てるための支援が必要です。
- 放課後児童クラブの利用児童数が増加しているため、利用者のニーズに合わせた対応が必要です。
- 仕事と育児の両立を支援するため、病気やけがにより通常の教育・保育を利用できない児童に対応した病児保育を開設していますが、仕事と子育ての両立可能な環境の確立をめざして、ワークライフバランスの考え方の浸透が必要です。



園庭で運動する園児

施策の方針

① 安心して子育てできる保育環境の整備

- 認可保育園や幼稚園、認定こども園に質の高い就学前教育が求められていることから、幼児教育・保育関係者に対し、より専門性の高い研修の機会を与え、保育の質の向上を図ります。
- 女性の就業率の上昇や幼児教育・保育の無償化、低年齢児の増加に伴う保育ニーズの高まりに対応し、認可保育園・こども園の定員見直しや、民間園の誘致などにより、教育・保育の量の確保を図ります。
- 多様な働き方に対応するため、一時預かり、病児保育、ファミリーサポートセンターなどさまざまな保育事業を引き続き実施します。

② 子どもの居場所づくり

- 放課後児童クラブについては、ニーズの把握に努め、施設の拡張や近隣施設の活用などにより、必要に応じた支援の量の確保を図ります。
- 認可保育園・認定こども園では保護者の就労状況等により、通常の保育時間を延長して子どもを預かる時間外保育を、また幼稚園では預かり保育事業を引き続き実施します。

③ 切れ目のない支援体制の確立

- 育児相談を始め親子の交流機会の提供や、親子や世代間のふれあいの機会を創出するために子育て支援センター等の事業を引き続き実施します。
- 育児不安・育児の悩み・負担感を抱える家庭がいつでも相談できる窓口や支援機関を充実し、医療・保健・福祉・教育が連携し、切れ目のない支援体制を提供します。
- 安心して医療機関に受診できるように福祉医療制度を継続し、適正な受診に努めます。
- 国籍や障害など、児童それぞれが持つ特性を認め合い、それぞれの児童や保護者の側に立った支援体制の確立を図ります。

関連計画

- ◆碧南市子ども・子育て支援事業計画
- ◆碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略



児童クラブでの読み聞かせ

基本施策

7

学校教育

施策のめざす姿

よりよい社会をつくるという理念を家庭や地域社会と共有し、これからの時代に求められる学校教育の充実をめざします。

子どもが社会に主体的に関わり、可能性に挑戦するために必要となる力を育むことのできる環境づくりをめざします。

現状と課題

- 子どもたちの将来の自立に向けて必要となる基礎・基本を養うとともに、コミュニケーション能力や他者を思いやる気持ちを育んでいます。学習環境の整備、特別な配慮を必要とする児童生徒への適切な支援等、情報化、少子高齢化、国際化など急激な社会変化に対応できる環境づくりを進めることができます。
- 不登校、いじめなどの支援として、教育相談室や適応指導教室での相談活動、派遣型スクールカウンセラーの活用等を行っていますが、その多くは個別の支援と時間が必要であり、さらなる関係機関との連携が必要です。
- 近年急増している外国人児童生徒への支援については、学習面では日本語教育の初期指導教室の開設、生活面では通訳のできるアシスタントの配置をしており、その効果は徐々にあらわれていますので、継続した支援をしていくことが必要です。
- 新しい教育内容(道徳、小学校外国語の教科化やプログラミング教育など)への対応や、教員の資質向上を図るため、教師としてのあり方や専門性を高める教員研修をさらに充実することが必要です。
- 児童生徒の安全を確保するために、全ての小中学校施設の耐震化を完了しましたが、今後は老朽化の進んだ学校施設の改修を計画的に行いながら、安心安全で快適な教育環境を整えることが必要です。
- 学校のICT環境整備を促進し、情報化社会に対応した学習環境の充実を図ることが必要です。
- 地元産の食材を使った献立の作成などの取り組みを進め、給食を通して食育の推進を図ることが必要です。



日本語初期指導教室



施策の方針

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

施策分野1

施策分野2

施策分野3

施策分野4

資料編

① 教育内容や環境の充実

- キャリア教育、職場体験学習を継続的に行い児童生徒の社会性の育成を図ります。
- 小学校外国語の教科化に対応するために、外国語指導助手の派遣や小学校英語専科非常勤講師を配置し、教育体制の充実を進めます。
- 生徒指導対応非常勤職員の配置を行い、教育環境の充実を図ります。
- 不測の事態に伴う学校休業を想定した、学びの保障について対策を進めます。

② 支援の必要な児童生徒への支援の充実

- スクールアシスタントを必要がある小学校に配置し、心身に障害等がある児童の支援を図ります。
- 日本語初期指導教室の開設や通訳のできるスクールアシスタントの配置をし、外国人児童生徒の支援を行います。
- 心の教室相談員の配置や、ハートフレンドの派遣、派遣型スクールカウンセラーの活用など、各機関が連携して不登校等の対策を進めます。

③ 教員研修の充実

- 新しい教育内容(英語教育、プログラミング教育等)への対応のための教員研修を実施します。
- 教員の資質向上のために教員研修指導員を配置して研修の充実を図ります。

④ 学校施設の整備・充実

- 学校にICT機器等を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するための学習環境の充実を図ります。
- 老朽化が進んだ学校施設について適切な維持管理と計画的な改修を行い、長寿命化を図るとともに安心安全かつ快適な教育環境の整備を行います。

⑤ 安全な給食の提供及び食育の推進

- 衛生教育の実施、食中毒・異物混入対策マニュアルの充実など食の安全に関する取り組みを進め、児童生徒に安全な給食を提供します。
- 「碧南人参の日」等の記念日に合わせて地元産の食材を使用し、児童生徒の食材への関心を高めることで地産地消の取り組みを推進します。

関連計画

- ◆碧南市教育大綱 ◆碧南市食育推進計画
- ◆碧南市学校施設長寿命化計画
- ◆碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本施策 8

生涯学習・スポーツ

施策のめざす姿

誰もが互いに楽しく学び合い、その成果が地域社会に活かされる環境をめざします。

人や団体相互の連携・交流を進め、地域力の向上をめざします。

青少年の教育、健康の維持増進、生きがいとして市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じた地域活性化をめざします。

現状と課題

- HEXPo STAFFや文化協会などの団体への活動支援を通じて、生涯学習をコーディネートする人材を発掘・育成していますが、人材を充実するための新たな方策が必要です。
- 市民の幅広いニーズに応じて、文化教室や高齢者教室、学ぼまい生涯学習、親子ふれあい講座、愛知教育大学連携公開講座などを開催していますが、各種講座の内容充実と周知方法の検討、成果を地域に活かす仕組みづくりが必要です。
- 文化祭、公民館まつりなど、学習成果を発表する場を提供するとともに、社会教育関係団体を始めとする各団体を支援していますが、幅広い年齢層が興味を持てるような魅力的な事業や支援が必要です。
- 碧南市スポーツ推進計画を策定し、いつでも誰でも気軽に継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めています。週1回スポーツ実施率の向上を図り、「スポーツで元気をつくる健康都市へきなん」をめざし、市民へ取り組みを促すことが必要です。
- 市のスポーツ事業は、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、へきなん総合型スポーツクラブが中心となって実施し、スポーツ推進委員により普及・指導を行っていますが、スポーツ関係の各団体の役割の明確化と連携強化によりスポーツに親しみやすい環境の整備が必要です。
- 学校体育や企業、スポーツチームと連携して、少子高齢化社会においても持続可能なスポーツ振興策が必要です。
- 碧南緑地ビーチコートなど特色のあるスポーツ施設を始め、多くのスポーツ施設を有しています。市民がこれらのスポーツに参加できる機会を増やすため、特色のある施設を活かしたスポーツ振興・地域活性化策が必要です。
- 文化施設・スポーツ施設ともに老朽化が進んでいるため、計画的な改築や改修を施し、利用者の安全や利便性を確保することが必要です。



学ぼまい生涯学習



碧南緑地ビーチコート

施策の方針

① 地域と連携した生涯学習の推進

- HEXPO STAFF、子ども会、青少年育成推進員など、生涯学習活動に関わる団体相互の連携を強化します。
- 家庭や地域の教育力向上を図るため、親子の共同体験や家庭教育に関する学習機会の提供に努めるとともに地域と連携した取り組みを推進します。

② 生涯学習機会の拡充

- 多様化するニーズに応じた、魅力ある講座を開催します。
- 各種講座の終了後、受講者が新たな団体として活動を継続できるよう支援します。
- 文化祭事業を始め、文化会館ホールなどをを利用して成果を発表する場を提供します。

③ スポーツの推進体制の強化

- スポーツ協会を始めとする関連団体の支援に努めるとともに、学校体育や企業、スポーツチームを含む各団体間の連携を強化し、スポーツの裾野拡大を図ります。
- 指導者の育成と資質向上により、安定的かつ継続的にスポーツができる環境の整備を行います。

④ スポーツに触れる機会の拡充

- スポーツ教室や手軽な健康づくり講座の開催など、市民がスポーツに触れる機会を提供することにより、健康寿命の延伸に努めます。
- 年齢や体力さらには障害の有無に応じ、生涯にわたりスポーツを楽しめる環境の整備に努めます。
- ニュースポーツ・若者向けスポーツを始めとした魅力あるスポーツ事業を実施することにより、スポーツの推進と地域の活性化をめざします。
- スポーツ施設の魅力を積極的にPRし、利用促進をめざします。

⑤ 生涯学習・スポーツ施設の維持管理・整備

- 生涯学習関連施設やスポーツ施設の計画的な維持・管理を行うとともに、利用者の安全はもとより、利便性の高い施設・設備となるように整備・改修を進めます。
- 碧南緑地におけるスポーツ施設の整備については、アジア・アジアパラ競技大会後の利用を見据えつつ、費用面を含めあらゆる観点から調査・研究を進めます。

関連計画

- ◆碧南市教育大綱 ◆碧南市生涯学習推進計画
- ◆碧南市スポーツ推進計画 ◆碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略



プロバスケットボール選手による指導

基本施策 9

芸術・文化

施策のめざす姿

誰もが心豊かな生活を楽しむ活気あるまちづくりの拠点として、それぞれの施設の特色を活かしながら充実した芸術文化活動をめざします。

地域の歴史・文化・自然の保存と活用を図り、次世代への継承をめざします。

現状と課題

- 碧南市芸術文化ホール、碧南市民図書館、碧南海浜水族館、碧南市藤井達吉現代美術館、哲学たいけん村無我苑では、各施設の特色を活かし施設の魅力を高める施設運営が必要です。
- 各施設では、小学校や中学校と連携した教育活動や施設間の連携など、教育文化に関する普及活動を効果的に行うことが必要です。
- 各施設の利用を通じ、若い世代が芸術文化に興味を持ち、新しい文化を創造できるよう、自由闊達な雰囲気を作りながら幅広い世代の意見を積極的に取り入れていくことが必要です。
- 多くの来場者に来ていただくために各施設の特色を効果的にPRする取り組みが必要です。
- 各施設では、利用者が安心・満足して利用できるよう、計画的な改修が必要です。
- 文化財の保全と活用のために、文化財調査や文化財指定、市史・民俗資料の収集や調査研究を進め、地域に誇りを持てるよう、文化財に対する理解の促進が必要です。
- 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐことを目的に、教育普及活動や種保存活動に継続して取り組むことが必要です。
- 市民による芸術文化活動が地域に根付くよう、誰もが気軽に優れた芸術文化に親しむことのできる機会の充実が必要です。
- 超高齢社会や外国人との共生等で生ずるさまざまなニーズに応えるため、地域の課題を地域で解決できるよう、誰もが自主的に学びやすい環境を整えていくことが必要です。
- 心の豊かさを感じることで、生きがいを持った生活を送ることができるよう、哲学・文化を身近に感じる取り組みが必要です。



海浜水族館・大水槽



美術館ワークショップ



エメラルドホール



施策の方針

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

施策分野1

施策分野2

施策分野3

施策分野4

資料編

① 自主運営事業の充実

- 各施設の特性を生かした魅力ある事業を行うことで、まちの芸術文化環境を個性あるものにし、若い世代が新しい文化を創造しやすい地盤を育てます。
- 地域の歴史や伝統文化の調査研究を進め、積極的に文化財指定を行い、貴重な文化財の継承・保存を推進し、潜在的な文化資源を掘り起こすとともに、公開などの活用を図ります。
- 各施設が地域文化活動の拠点になるよう、市民同士の交流を深める事業やボランティア活動を支援する事業などを展開します。
- 自由な発想の事業を行うため、施設の枠にとらわれず施設間連携を深め、より充実した企画を実施します。

② 教育普及の充実

- 学校や園と連携した事業を積極的に行うことにより、子どもが芸術文化に興味を持つきっかけを作り、地域の歴史や自然環境の大切さを伝えることで、将来の地域文化の担い手の育成を図ります。
- 何度訪れても魅力を感じさせる施設作りのために、企画や展示コーナー等を刷新し、得た知識や教養が市民や地域に活用されることをめざします。

③ 情報発信の強化

- 各施設はホームページやSNSを利用し、本市ならではの情報を公開し、施設の魅力や地域文化のイメージを高めるよう情報発信をするとともに、市民の意見を収集し、施設の運営に反映します。

④ 施設の整備

- 施設の計画的な改修により安全性を高め、市民が安心して利用できるよう整備を進めます。
- 観光資源として活用するため、必要に応じて民間とも連携しながら、施設・サービスの向上を図ります。

⑤ 施設の特色を活かした運営

- 碧南市芸術文化ホールは、優れた芸術文化にふれることができる機会を提供するとともに、市民による自主的な芸術文化活動が地域に根付くための支援を行います。
- 碧南市藤井達吉現代美術館は、多世代を対象とした美術普及活動を展開し、藤井達吉など本市に縁のある人物や地域の歴史の調査・研究を進め、啓発活動を行います。
- 哲学たいけん村無我苑は、哲学・茶道・芸術・文化などを通して心を豊かにする事業を展開します。
- 碧南市民図書館は、外国人を含めたあらゆる世代のニーズに応え、多種多様な資料を収集提供し、市民が自主的に学べるよう読書活動の推進を図ります。
- 碧南海浜水族館は、特別展やビオトープなどでの自然観察会等を通して、命の大切さを学び、絶滅危惧種や自然環境の保全に必要な能力の育成・支援を図ります。

関連計画

- ◆碧南市教育大綱 ◆碧南市の図書館サービス計画
- ◆碧南市子ども読書活動推進計画 ◆碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略